

令和6年4月1日  
全道連 第1号

全国道場少年剣道大会出場道場 御中

東京都大田区大森北二丁目三番十六号  
一般財団法人 全日本剣道道場連盟  
会長 下村 博文

(印  
略)

## 第58回全国道場少年剣道大会 要 項

1. 趣 旨 全国各地の優秀なる少年少女を一堂に集め、少年達に正しい剣道の指導、心身の鍛錬及び相互の親睦を図ることを目的に試合錬成等を行い、もって我が国の将来を担う少年の健全なる育成に寄与することを目的とする。
2. 主 催 一般財団法人 全日本剣道道場連盟
3. 後 援 スポーツ庁・総務省・子ども家庭庁・全日本剣道連盟・日本武道館・日本財団 (助成)
4. 特別後援 毎日新聞社
5. 日 程
  - 第1日目 令和6年7月30日(火) 午前9時00分開始  
① 開会式 ② 小学生団体試合 ③ 表彰・閉会式
  - 第2日目 令和6年7月31日(水) 午前9時00分開始  
① 開会式 ② 中学生団体試合 ③ 表彰・閉会式
6. 場 所 日本武道館  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 の 3
7. 参加資格
  - ① 全日本剣道道場連盟の加盟団体に所属する少年少女剣士であること。
  - ② 各都道府県支部割当数により選抜されたチームであること。
  - ③ 参加少年少女剣士は保護者の同意を得ること。
  - ④ **参加者は当連盟の少年剣士会員章(ワッペン)を剣道着の右上腕部につけること。**
  - ⑤ **参加者は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用すること。**
  - ⑥ **小学生の部は、3年生以上とする。**
8. 申込方法
  - ① 申込は、必ず本連盟の申込用紙を使用する。
  - ② 申込用紙は支部が確認の上、本部に送付する。(必ず楷書で記入)
  - ③ 出場チームは必ず申込書の控えを取っておくこと。
  - ④ 出場チームは1チーム金 **6,000円** の賛助金を、申込と同時に本部へ現金書留で納入する。

⑤ 申込先 〒143-0016

東京都大田区大森北二丁目三番十六号二階  
全日本剣道道場連盟 全国道場少年剣道大会 本部宛  
TEL (03) 5493-7080 FAX (03) 5493-0220

⑥ 申込締切期日

令和6年6月20日(木) 必着

- 現金書留封筒に申込書を折って同封しても可。また、複数同封も可。
  - 参加申込後、何らかの理由で欠場する場合は、必ず支部と本部へ連絡すること。
  - 〆切以降の出場の取り消しによる賛助金の返金は行わないので、了承の上申込むこと。
- ※ 上記申込方法は支部によって異なる場合がある為、必ず支部確認の上、申込むこと。

9. 通 知 全出場チーム確定後、【出場決定通知書】を道場主へ送付する。(7月上旬)  
尚、投函完了日を全道連ホームページに掲載する。

10. 選手の登録・変更について

- ① 補欠選手は認めない。
- ② 2名で登録する場合は「中堅」をあけて「先鋒」と「大将」で登録すること。
- ③ 申込後、選手変更がある場合は、上記の大会本部へ連絡すること。
- ④ 【出場決定通知書】発送後の欠員補充は、試合当日、自チームの第1試合開始までに、各試合場にて選手変更の手続きを行うこと。ただし、オーダーの変更は認めない。

11. 受 付 各日共、日本武道館西口において【出場決定通知書】により、受付を行う。

12. 試合内容 本大会は全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則、審判細則並びに、『新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法』、および本大会要項、申し合わせ事項に従って行う。

試合者は試合中、面マスクかマウスシールドのどちらかを着用すること。  
マスクは口と鼻を確実に覆うもの、シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない。

試合は3人制の団体戦で、各試合場、トーナメント方式により行う。

- ① 試合時間は小学生2分、中学生2分30秒、3本勝負で行い、勝敗の決しないときは引き分けとする。
- ② 勝者数、総本数が同数のときは、任意による代表者戦によって勝敗を決する。  
代表者戦は2分1本勝負とし、勝敗が決しない場合は延長戦を2分ずつ時間を区切って行い、延長3回で~~4回~~の休憩を取り、勝敗の決するまで行う。(延長3回で1回5分の休憩)
- ③ 試合者は鏝競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技(発声を含む)は認める。やむを得ず鏝競り合いになった場合、試合者はすみやかに分かれる。(鏝迫り合いは一呼吸3秒程度とし、剣先が触れない所まで下がる)
- ④ 「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項に準じ禁止する。ただし、隻腕の場合は事前に大会本部に連絡すること。
- ⑤ 試合者は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用すること。  
SSPシール貼付の竹刀でない場合は取り換えて試合を行うこと。
- ⑥ 竹刀の規格は全日本剣道連盟の規則に従う。ただし、小学生は111cm(3尺6寸)以内の安全な竹刀を使用すること。
- ⑦ 試合場は規則より狭く設営してあるが、「場外」の反則は規則通り適用する。
- ⑧ 試合者の目印(紅白たすき)は、各チームで持参し、着脱も行うこと。  
(プログラムによるチーム番号の若い方を赤とする)
- ⑨ 試合者の名札(垂ネーム)は、所属団体部分がチーム名(全道連登録名)と合致した、姓入りの明確に読み取れるものを使用すること。  
(全道連に「〇〇中学」等、学校名で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できない)

13. 表彰 下記の通り表彰する。

① 決勝トーナメント戦

- (1) 優勝 1 チーム 優勝旗、優勝杯、楯、メダル等
- (2) 準優勝 1 チーム 楯、メダル等
- (3) 三位 2 チーム 楯、メダル等
- (4) 敢闘賞 4 チーム メダル等

② 16ブロックにおける上位各4チーム(ベスト64)までを順次表彰する。

③ 参加選手に対しては参加賞を授与する。

14. 参加者の健康管理等

- ① **本大会は事前アップの時間は設けない。また竹刀を用いた練習は禁止とする。**
- ② 出場チームは必ず監督が引率し、大会中選手の健康管理その他すべての行動に責任を負う。
- ③ 主催者は大会中の負傷疾病に対し応急手当をする他は、一切の責任を負わない。
- ④ 少年剣士会員章(ワッペン)着用 of 選手は、自動的に傷害保険が適用される。

15. 弁当 昼食は各チームで調達し、ゴミ等は持ち帰る事。館内は観覧席以外での食事は禁止とする。

16. 経費 参加者の経費(旅費・宿泊費等)は、各自手配の上、自己負担とし、大会中止等による、宿泊所、交通機関のキャンセル代が発生する場合も自己負担となる。

17. 入場・座席について

施設側より通達されている消防法遵守の依頼を踏まえ、  
**出場する1チームにつき12席を割り振り、入場は12名以内(監督・選手含む)とする。**  
座席は指定席として振り分け、【出場決定通知書】にて通知する。

18. 道場旗・団旗(旗幟)の館内掲示について

**安全管理面、施設面等の規制により、本大会は、  
道場旗・団旗(旗幟)等の館内掲示は不可とする。**

19. 北の丸公園内駐車場(有料)について

北の丸公園周辺の混雑緩和の為、公園内駐車場を借り上げ、「**駐車券**」を抽選販売とする。  
申請は公平を期する為、**各日とも出場 1 チームにつき 1 台の申請**とする。  
申請書は【**出場決定通知書**】に同封する。申請期間が短いので注意すること。

20. その他 選手・監督・保護者・応援者を問わず、大会に参加する全ての者は、本「要項」の他、【**出場決定通知書**】並びに、それに同封される『**参加上の注意**』等を、厳守し、大会に参加すること。

- ※ 申込書により得られたデータは、プログラムの選手名掲載他、記念品制作等及び、剣道普及のために使用することがある。
- ※ 大会等の会場において、個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全道連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- ※ 大会の会場等におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会の運営等を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- ※ 全道連または全道連が許可した報道機関等が撮影した写真や映像が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等に掲載や配信、販売されることがある。
- ※ 道場主の変更等は、所定の手続きを各支部において行うこと。

## ※「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止対策について

- ※ 本大会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る為、全日本剣道連盟の制定した「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に沿って開催する。
- ※ 来館者におけるマスクの着用は個人の判断とし、試合審判中の審判員はマスクを着用しない。
- ※ 新型コロナウイルス関連の状況を踏まえ、今後、開催や規則等、適宜変更する場合がある。
- ※ 主催者は  
感染に関する注意喚起、消毒液の設置等の感染防止対策を行うが、  
参加者が新型コロナウイルス感染症に感染しても一切の責任を負わないものとする。

## ※「SSPシール」貼付竹刀について

### Shinai（竹刀） Safety（安全） Promotion（推進）

全日本武道具協同組合が竹製の「竹刀」の安全性を高める為、推進している事業で、厳しい検査を受け、試合基準を完全に満たした竹刀に貼付され、番号により「何時・何処」で製造されたか等、管理されています。

本大会においても「粗悪竹刀」による事故等を防ぐ為、「SSPシール」貼付の竹刀を使用することを、参加資格として適用しました。

- ※ カーボン竹刀（樹脂製竹刀）は、今まで通り使用出来ます。

## Q & A

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 竹だけで販売しているのですか？    | 安全基準を満たした3.0の竹のみ並びに完成品から、3.9の竹のみ並びに完成品までに貼付してあります。   |
| SSPシールには2種類あるのですか？ | 発足当初に使用したシール（10年前のもの）が、今現在でも残って販売されていると思われるので、2種類となります。「SSPシール」として問題無い竹刀となります。   |
| 販売店の紹介は？           | 全日本武道具協同組合のホームページをご検索ください。<br><a href="http://zenbukyo.jp/">http://zenbukyo.jp/</a><br>☎ 03-3251-0454 全日本武道具協同組合事務局 高城 |
| NET販売については？        | 「SSPシール」取扱いの全日本武道具協同組合会員店ごとに直接確認して頂ければと思います。   |

- ※ 【出場決定通知書】に「SSP竹刀購入割引券」を同封します。ご利用ください。

- |              |   |
|--------------|---|
| 割引金額はいくらですか？ | 3.7までの竹刀について、購入割引券と引き換えに500円を割引く券です。各チーム×3名分の購入割引券を配布します。 |
|--------------|---|

- ※ 選手・監督および保護者は本大会における対策および取り決めについて同意の上出場する。

- ※ 『出場決定通知書』発送後の大会情報は、全道連ホームページ(<https://www.zendoren.org/>)で随時ご確認下さい。